長町病院理念 ◆ 患者のみなさまとともに“平等・安全・信頼”の医療をめざします！

民医連 公益財団法人 宮城厚生協会

長町病院だより

2026・11 No.127

発行責任者 ◆ 金成建太郎
〒982-0011
宮城県仙台市太白区長町３丁目７番 26 号
TEL 022-746-5161 ㈹ FAX 022-746-5114
http://www.m-kousei.com/nagamati/

熊本地震現地派遣支援を経験して

リハビリテーション室　作業療法士　中川　俊

2026年7月28日、熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生いたしました。死者38人、負傷者350人以上、4万4千棟を超える住宅被害が確認されています。私は、その中でも被害が大きかった八代市に8月24日から28日の5日間、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）宮城支部の第5隊目（3名、うち当法人からは1名）として派遣され、支援活動に参加しました。

現地での活動としては、八代市内にある避難所を訪問し、体調不良者の有無や避難所環境での困りごとがないかを伺って回り、避難所または個人に必要な物品の支給、動作確認などを行ってきました。

対応した例として、自宅が全壊し、身一つで避難所へ来た方がおられました。サイズの合わない靴を履いてることで何度も転倒していたと報告を受け、支援物資として届いた靴や歩行器を提供し、避難所内や付近の屋外歩行の動作観察を行いました。他には、簡易シャワーに手すりがなく、不安との声があり、設置型手すりを取り付けたり、段差箇所にスロープを設置したりと現場での各自の判断・対応を求められる活動が多くありました。

一つ一つの対応は小さなものであったものの感謝の言葉をいただいたり、話しを聞



くだけでも表情が和らぎ、笑顔になってくれた避難者の方々を見て、避難者や避難所を運営されている方々の精神的な落ち込み、疲労、不安などさまざまな感情や心の傷に寄り添うことの大切さを改めて感じました。

今回の経験を活かせるよう、今後も学びを深め、いつか来るであろう災害に備えていきたいと思います。

骨粗しょう症検診と二次性骨折予防について

リハビリテーション科　医師　水尻　強志

要介護の原因、骨折・転倒が脳卒中を追い抜く

日本では、介護が必要になった原因の第１位が認知症、第２位が脳卒中という状態がしばらく続いていました。しかし、2026年８月に公表された国民生活基礎調査では、脳卒中が第４位に順位を下げる一方、骨折・転倒が第３位となり、順位が逆転しています。脳卒中が減ったのは、高血圧・糖尿病・脂質異常症、心臓病などに対する医療が進歩し、脳卒中になりにくくなったためと考えられています。

日本における骨粗しょう症患者は推計約1,600万人いると言われていますが、治療を受けているのは15%ほどしかいません。骨粗しょう症があると、尻もちをつくなど、ちょっとしたことで骨折を起こす方が増えてきます。要介護の方を減らすためには骨がもろいことで生じる骨折を防ぐことが大事であり、そのためにも骨粗しょう症に対する医療を普及させる必要があります。

骨密度検査を行なって自分の骨の状態を知り、治療を行なって骨の貯金をつくる

骨粗しょう症は女性に多い病気です。特に閉経後は女性ホルモンの減少に伴い骨密度が低下していきます。日本人の場合、カルシウムやビタミンDの摂取が少ないことも問題となっており、食習慣を見直すことが求められています。適度な運動や日光に浴びることも骨粗しょう症を予防するためには大事です。

2026年度より、協会けんぽに加入する40歳以上の女性に対し、偶数年に骨粗しょう症検診を行うことになりました。仙台市では、40歳、50歳、60歳の節目の年に骨粗しょう症検診を行なっています。早めに自分の骨密度を把握し、生活習慣を改善し、骨がもろくなっていくスピードを落とすことが求められています。

60歳代以降になると、骨粗しょう症になる方が急速に増えてきます。このような方に対しては、生活習慣を見直すだけでは不十分で、骨を強くする薬を使用することが勧められます。薬による治療を行って骨の貯金をつくっておくようにすることが、70歳代以降に急増してくる骨折を防ぐことにつながります。

当院では、2026年４月より、DXA法という種類の骨密度検査を導入しました。この装置は、大腿骨頚部（あしの付け根の部分）の骨密度を測定でき、診断だけでなく治療効果も判定できる優れた医療機器です。当院に定期受診中の方だけでなく、通院されていない方でも、外来でご相談していただければ検査は可能です。

骨折を繰り返さないように 骨折予防効果のある薬を使う

一度骨折を起こすと、２年以内に骨折を繰り返す危険が高まることが知られています。このような場合、骨折予防効果がある薬を使用することが推奨されています。

大腿骨頚部骨折において、手術をする急性期病院、リハビリテーションを行う病院、継続して骨粗しょう症の治療を行う病院・診療所の連携を強化する目的で、2022年度より二次性骨折予防継続管理料という診療報酬が導入されました。当院にも、リハビリテーション目的で多くの方が入院しているため、骨折を繰り返さないための治療を急性期病院と連携して行なっています。

長町病院は、骨折後の患者に対し、リハビリテーションから骨折予防まで幅広く取り組んでいる医療機関であると自負しており、骨粗しょう症に対する診療を強化していくことを病院の方針にしています。気軽にご相談していただければと存じます。



医療相談室より ～事例紹介～



地域連携・医療相談室　社会福祉士　菊池　早織

70代Ａさん。脳梗塞により手足に重い麻痺が生じ、リハビリ目的で当院へ転院してきました。元々は自営の収入と年金でどうにか遣り繰りしながら1人暮らしをしていました。転院初日に親族の方より医療費が心配との相談を受け、無料低額診療をご案内しました。医療費は免除となり、金銭面の心配をする事なく入院が出来ました。

１人暮らしは難しい状況ですが、仕事の再開は難しく金銭的余裕はありません。施設の費用減免制度をご案内し、費用負担を軽減し施設へ入所する事が出来ました。長期的には生活保護の申請についてもご案内しました。

病気や障害によって、生活が困窮してしまう事態は誰にでも起こり得る事です。しかし、施設費用の減免や生活保護の制度そのものを知らなければ活用する事が出来ません。申請主義ではなく、誰もが安心して医療や福祉に繋がる事が出来るような社会保障制度の拡充・改訂に向けてソーシャルワーカーとして日々声をあげていきたいと思います。

2026年11月 長町病院診療体制

科名		月	火	水	木	金	土
内科	午前	下地	庄司	庄司	庄司	鈴木	水尻 21 佐藤 14・28 本田（呼） 21 戸井（呼） 7・14・21・28 認知症相談 21
		神沼	水尻	水尻	水尻 5休診	水尻 6休診	
		庄司 9	片倉 17	鈴木 4・18	三須	神沼	
		—	—	佐藤	佐藤	—	
		新患・臨時外来 担当医	新患・臨時外来 担当医	新患・臨時外来 担当医	新患・臨時外来 担当医	新患・臨時外来 担当医	新患・臨時外来 担当医
	午後	神沼	伊藤	伊藤	—	伊藤	—
		及川	—	—	—	—	—
糖代謝科	午前	及川	対馬	対馬	上月 （東北大学病院より）	土門	土門 14・28
	午後	—	対馬	対馬	—	—	—
リハビリテーション科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	水尻	水尻 18休診	—	水尻 6休診	—

※診療体制については変更する場合もございます。
※受付時間については下記をご覧ください。



11月の外来診療のご案内

〈在宅訪問診療のお知らせ〉

長町病院では、「定期的に医療が必要だけど通院が難しい」「入院や施設よりも住み慣れた自宅で過ごしたい」という方を対象に**定期的にご自宅へ訪問する診療**を行っております。

●対象となるのは

①外来通院困難な事由があること（要介護3以上、認知度Ⅲ以上など）
②本人・家族が訪問診療を希望していること

詳しくは当院HPをご覧いただけますと幸いです。
また、ご不明な点がございましたら、当院在宅室までご連絡ください。

〈内科からのお知らせ〉

10月から診療時間内にインフルエンザ・コロナワクチン接種を開始いたします。
ご希望の場合は窓口にお声がけください。

内科受付・診療時間



○ 午前の受付時間
月～土曜日 8:30～11:30
※診療開始は9:00からです。

○ 午後の受付時間
月～金曜日 13:00～16:30
※予約外の方は16:00まで
※診療開始は13:30からです。



○ 予約の問い合わせは
TEL 022－746－5161(代表)までお願いします。
〈平 日〉8:30～17:00
〈土曜日〉8:30～12:30

○ 土曜日の午後、日曜日・祝祭日は休診です。
急患の場合はTEL746－5161(代表)にて、ご相談ください。

○ 上記のほか、ご不明な点がございましたらお近くのカウンターにてご確認ください。

休診日：日曜・祝祭日・年末年始（12月30日～1月3日）